

2018年6月7日

受益者の皆様へ

野村アセットマネジメント株式会社

日本企業外貨建て債券ファンド 2016-03（為替ヘッジあり）
＜愛称：ボンドジャパン＞信託報酬率引き下げのお知らせ

謹啓 時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。また、平素は格別のお引立てを賜わり厚く御礼申し上げます。

さて、弊社運用の「日本企業外貨建て債券ファンド 2016-03（為替ヘッジあり）＜愛称：ボンドジャパン＞（以下、当ファンドといいます）」について、日米の短期金利差の拡大等を背景とした為替ヘッジコストの上昇に伴い、実質的な利回りが低下していることを鑑みて、2018年6月15日（金）より信託報酬率の引き下げを行なう予定である旨お知らせ申し上げます。当変更に伴う特段のお手続等は必要ありません。

※「日本企業外貨建て債券ファンド 2016-03（為替ヘッジなし）＜愛称：ボンドジャパン＞」については、信託報酬の引き下げは行ないません。

信託報酬	変更前	変更後
委託会社	0.40%	0.01%
販売会社	0.40%	0.01%
受託会社	0.03%	0.01%
合計額	0.83% (税込：0.8964%)	0.03% (税込：0.0324%)

当ファンドは、信託報酬率（税抜）の総額を0.83%から0.03%に引き下げを行ないます。なお、当ファンドの運用の基本方針、運用体制等、運用に関する一切の変更はございません。

また、分配金につきましても、次回決算である9月以降は見直しを検討している旨、併せてお知らせ申し上げます。

謹白

信託報酬率引き下げに関する Q&A

Q1：なぜ当ファンドだけ信託報酬率を下げるのか？

A1：当ファンドは2020年9月9日を満期とする単位型投資信託として設定され、マザーファンドを通じてファンドの信託期間内に満期償還日または繰上償還可能日を迎える公社債を中心に投資対象銘柄を選定し、信託期間内に満期償還日または繰上償還可能日を迎える銘柄については、原則として当該日まで持ち切り、信託終了日後に満期償還日または繰上償還可能日を迎える銘柄については、原則として信託終了日前に売却することを基本としております。また、実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジにより為替変動リスクの低減を図ることを基本としております。こうした商品性から今般の為替ヘッジコストの上昇に伴う当ファンドの利回りの低下に対して信託報酬率を引き下げるものです。

※日本企業外貨建て債券ファンド2016-03（為替ヘッジなし）につきましては為替ヘッジを行わないことから、為替ヘッジコスト上昇の影響がないため、信託報酬率の引き下げを行いません。

Q2：基準価額は上昇するのか？

A2：今後の為替ヘッジコスト、市場金利などの投資環境を確実に予測することはできませんが、当信託報酬引き下げに伴い、信託報酬控除後の利回りは上昇いたします。

Q3：繰上償還も検討すべきではないか？

A3：現在の市場環境から、信託報酬の引き下げにより当面はプラスの利回りを確保できると判断しております。今年の秋以降さらなる米国の金利の上昇等の要因により為替ヘッジコストが上昇した場合には、繰上償還手続きに入る可能性があります。

◆このお知らせに関するお問合せ先◆

野村アセットマネジメント株式会社 サポートダイヤル
0120-753104（受付時間：営業日の午前9時～午後5時）